

仕舞 自然居士クセ 西村高夫

仕舞 花 月 キリ 清水寛二

能
木賊 TOKUSA

山本順之

響
響の会

第37回研究公演

平成25年

3月30日土

午後2時半開場

午後3時開演

於 鍊仙会能楽研修所

■ 入場料(全席自由)

一般7,000円

学生4,000円

■ お申込み・お問合せ

《電話》

03・3401・2285

鍊仙会 平日10時〜17時

《ウェブ予約》

<http://www.hibikinokai.com>

響の会ドットコム

主催 響の会(清水寛二・西村高夫)

写真「木賊」観世寿夫 撮影／吉越立雄

響の会 第三十七回研究公演

時を得て 曲に出会ひ 人に出会ひ 新たな心に出会ひ 響き合ふ

仕舞 自然居士 クセ
 仕舞 花月 キリ
 清水 寛二
 安藤 貴康
 小早川 修
 柴田 稔
 北浪 貴裕

能木賊

地謡
 シテ／老翁 山本 順之
 ツレ／男 浅見 慈一
 長山 桂三
 岡田 麗史
 谷本 悠太郎
 宝生 欣哉
 大日方 寛
 則久 英志

子方／松若 谷本 悠太郎
 ワキ／旅僧 宝生 欣哉
 ワキツレ／従僧 大日方 寛
 則久 英志

笛 松田 弘之
 小鼓 観世新九郎
 大鼓 柿原 崇志

地謡
 谷本 健吾 柴田 稔
 北浪 貴裕 西村 高夫
 伊藤 嘉章 清水 寛二
 泉 雅一郎 小早川 修
 後見 山本 博通
 観世鍊之丞

△17時終演予定▽

●自然居士

京の都で人気の説教者、自然居士は半僧半俗の青年。自らを両親の供養のために人買に売った少女を琵琶湖に追い、芸能を尽くし取り返す。「クセ」では船の起源を謡い舞う。

●花月

清水寺の花の下、鞆鼓など様々な芸能を披露している少年、花月。旅僧が私の子ではないかと名乗り出る。「キリ」では花月が彦山の天狗にとられ諸国を巡った様子を謡い舞う。

●木賊

信濃出身の少年僧を連れ京の僧が、木曾路・園原山に差し掛かると、木賊刈りの老人青年達一行に出会う。

「木賊」は地下茎で増える濃緑の植物。直立した丸い地上茎は独特で美しく、観賞用に栽培されるが、かつては物を磨くときに使われ（砥草とも。現在でもクラリネットのリードや三味線の撥などを磨くのに用いられる）、信州の特産でもあった。

鎌を持ち古歌を引きながらのシテとツレ登場のこの木賊刈りの場面が、まずの見どころ聞きどころ。

土地の名歌「園原や布施屋に生おる箒木…」を巡る問答のあと、その老人が、小歌や曲舞などの芸能好きな一人子を見失い、尋常でなくなっていることが露見する。

僧一行を泊め、我が子の衣装を身に着けた老人は、僧達に酒を勧め、子を思う心地を語り始めるが、やがて高調し「我が子はこころ舞しものを…」と狂おしいほどの子を思う気持ちのこもった、しかもしみじみとした舞を舞う。

世阿弥作の特殊な狂男能。観世流では重習。そのやり取りや謡・舞に独特の表現・面白さを持ち、大変魅力のある能。師山本順之のシテに、響の会同人が地謡を作ります。

日時 平成25年3月30日(土)
 15時 開演 (14時半 開場)

会場 鏡仙会能楽研修所
 東京都港区南青山 4-21-29
 ☎ 03-3423-1331
 東京メトロ (銀座線・千代田線・半蔵門線)
 表参道駅 下車 A4出口 徒歩約3分

チケット 【全席自由】
 一般 7,000円 / 学生 4,000円
 500円追加で最後列のベンチシートをご予約いただけます。
 (限定20席、正面・脇正面とも同額)

お申込みお問合せ
 ◆ Tel 03-3401-2285 (鏡仙会内 平日10時-17時)
 ◆ インターネット予約
<http://www.hibikinokai.com>

